

学習指導要領	山崎高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開に注意しながら主要な内容をとらえ、その論理性に気づくことができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、対比の関係や「序論・本論・結論」など段落の構成をとらえることができる。 ・小説において、場面や人物などの設定を通して全体の構成やその展開の仕方をとらえることができる。 ・構成や展開の仕方をたどりながら、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容をとらえることができる。 ・文章の構成や展開の工夫や、書き手の主張などを伝えるための筋道の通し方に気づくことができる。
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、書き手の意図に気づいたり、人物、情景、心情の描写などをとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を感じ取り、味わうことができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、書き手の主張や意図を文章中から指摘し、整理することができる。 <p>中島敦『山月記』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像や心情の変化を、その言動から読み取ることができる。 ・作品全体を通して登場人物の心情や葛藤を読み取ることができる。 ・同じ作家の他の作品などを読書することができる。

学習指導要領	山崎高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を指摘しながら、自分の考えを深めることができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、共感したり反発したりすることを通して、その根拠となる内容や表現を指摘することができる。 ・文章を読んで身近な人間、社会、自然などの問題に結びつけ、自分の考えを明確にすることができる。
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>目的に応じて、収集した情報を整理して資料を作成し、根拠を示しながら自分の考えを述べることができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や課題に応じて、事典、新聞、書籍などを利用して情報を収集することができる。 ・収集した情報を整理して、自分が活用しやすい資料を作成することができる。 ・作成した資料を活用して、自分の考えを表現することができる。
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>語句の意味、用法について基本的な事柄を理解し、文体や語句の使い方などの表現の特色を意識して、自分の表現を見直すことができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難易度が易しい文章について、語句の意味・用法を理解し、用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち、基本的なものの意味を正しく理解し、用いることができる。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代に生きる自己の課題</p>	<p>自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p> <p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の進路選択や、自己の生き方を考えるうえでの、困難を乗り越えるために、おとなとこどもの違いについて考え、青年期の特徴を理解している。 青年期の特徴として、第二性徴、第二反抗期、心理的離乳という概念を理解している。 ・自立をする上で必要なアイデンティティの確立について理解し、どのようにすればそれが達成できるか、自分なりに答えを出している。 ・アイデンティティ拡散の例として、ピーターパン・シンドロームなどを理解し、そうならないために、いかに自己理解を深めていくか自分なりの答えを出している。 ・マズローの欲求階層説などをもとに、人間は自分自身を成長・発展させ、自己実現を図ろうとする欲求を持つことや、自己肯定感の重要性について理解し、「承認」という観点からそれをどのように高めていくか自分なりの答えを出している。
<p>(2) 人間の在り方生き方</p>	<p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p> <p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特徴について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の課題とともに、自己の生き方を助ける手段として、哲学・宗教などのもつ価値を理解している。 ・古代ギリシャの自然哲学を理解することで、人間の知的営みが神話的世界から論理的世界にどのように移行していったのかを理解している。 ・ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想について理解させ、知を探究することの意義について考えている。 ・宗教について、その内容を具体例をまじえながら理解し、その意義について考察している。 ・日本の人間観、自然観、宗教観の特質について理解し、国際社会に生きる日本人として、社会のあり方や自己の生き方について主体的に思索を深めている。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>(3) ア 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p> <p>イ 現代の諸課題と倫理 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間とは何か」という問いについて、宗教改革について学ぶとともに、ルネサンスやモラリストの思想とともに理解している。 ・「科学革命」が市民革命などに与えた影響などを考え、科学観の違いについて理解し、ベーコンやデカルト、ポパー、クーンなどの思想をもとに、科学的に見るとはどういうことかについて考えている。 ・ホッブズやロック、ルソーなどの社会契約論の思想を、「自然権」「万人の万人に対する闘争」「抵抗権」「一般意思」の用語とともに理解している。 ・資本主義の課題とともに生まれた社会主義思想の特徴について理解し、映像等も用いながらそれぞれの理想の政治について考えている。 ・功利主義や社会契約説などの思想をもとに、民主主義を実現するための倫理が形作られていく過程について理解し、その影響について考察を深めている。 ・実存主義思想をもとに、自らの青年期やこれからの生き方について思索を深めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・多様なメディアを通じて、日々、大量の情報が伝達されている現代の情報社会の現状とその特徴について知り、風評被害などの問題を取り扱いながら、メディア・リテラシーの必要性を知り、それを身につけている。 ・グローバル化の進展とともに、文化摩擦や外国人差別の問題が発生していることを、エスノセントリズムの事例に基づき、理解している。 ・出生前診断、デザイナーベビー、クローン技術などの話題から、生命倫理について考え、自分なりの考えを持つ。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
(1) 現代の政治	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原則として、ホブズ、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の内容について知る。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を三大原則としていることについて理解し、大日本帝国憲法においては君主主権であったものが、日本国憲法の下では国民主権となったことや、現在、天皇は日本国及び日本国民統合の象徴であることなどについて知る。 ・日本国憲法の条文を踏まえて、国会、内閣、裁判所の諸機能について知る。例えば、国会が国権の最高機関で唯一の立法機関であり、衆議院・参議院の二院制を採用していることを知る。 ・法は社会生活における人間の行動を規律する社会規範の一つであり、国家による強制を伴うという点で、道徳や慣習とは異なることを知る。 ・基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立されたものであることを踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権について、その内容、確立の歴史的経緯、政治制度との関連などについて知る。 ・現代社会における権利相互の衝突に際しては、司法による調停や判決が下されることを知る。例えば、重大事件等に対する国民の司法参加を促す取組として裁判員制度があることを知る。 ・我が国における議会制民主主義が、日本国憲法に明記された国民主権と国会を国権の最高機関と位置付ける政治制度を土台に、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを知る。 ・我が国の地方自治制度の特徴として、直接民主制の考え方がより多く取り入れられており、首長と議会が住民の代表としてそれぞれ独立に選ばれていることなどを知る。 ・民主政治の本質は、主権者である国民の同意に権力の正統性を求める政治であり、一方、現代政治の特質とし

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<p>て、国民の価値観が多様化する中で、政府による利害調整の働きへの期待が大きくなっていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 55年体制の成立や小選挙区比例代表並立制の採用といった歴史的経緯を踏まえながら、戦後日本の政党政治と選挙制度の変遷について、その概要を知る。 ・ 冷戦終結後の国際社会の動向を踏まえて、世界の多極化や新興国の急速な経済発展等が進む中で、国際社会の平和と安定のために、国際機関が様々な活動を展開していることを知る。 <p>・ 国際法に関する基本的な仕組みや、統一的な立法機関が存在せず、当事国の同意以外、強制力を十分にもたない現状などについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取組が重要であることを知る。特に、北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを知る。 ・ 国際連合の主要な機関の名称と役割について、例えば、安全保障理事会が国際平和と安全の維持を目的とした機関であることや、五か国の常任理事国が拒否権を有することなどについて知る。 ・ 我が国の安全保障における日米安全保障条約のもつ意義や、自国の防衛と国際社会の平和と安全に向けて自衛隊が果たしている役割などについて知る。 ・ 現代の国際紛争は、国家間の対立だけではなく、民族・宗教間の対立やテロ行為を端緒とするものなど、その要因が多様化しており、国際的な連携が紛争の未然防止に不可欠であることを知る。 ・ グローバル化が進展する国際社会において、我が国に求められる、国際平和の実現に向けた人的・経済的な貢献の在り方について知る。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質 経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済活動とは、分業と交換の仕組みを活用して、人間生活の維持・向上のために行われるものであることを知る。 ・ 現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計、企業、政府のそれぞれの機能と役割について知る。 ・ 市場経済の仕組みについて、完全な自由競争市場においては、価格の自動調整機能によって均衡価格が成立し、経済資源の効率的な配分が実現されることを知る。また、市場の失敗の例として、公害問題や消費者問題（製品事故や薬害等）があることを知る。 ・ 物価や景気の変動が国民生活に大きな影響を与えることや、国民生活を向上させるには、経済成長と物価の安定が必要であることについて知る。例えば、1990年代以降の我が国において物価下落（デフレーション）が進行し、長期的な不況に陥ったことについて知る。 ・ 政府による経済活動のことを財政と呼び、国民から徴収した税金等を財源として様々な公共支出が行われていることや、国民経済における租税の意義と役割について知る。 ・ 金融市場における直接金融と間接金融の違いや、現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の機能などについて知る。例えば、我が国の中央銀行である日本銀行が、発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行という三つの特徴を有していることについて知る。 ・ 現代経済の特徴について、我が国をはじめ世界の多くの国々の経済体制が、完全な市場経済でも計画経済でもなく、混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていることを知る。 ・ 経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方と、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る。 ・ 国際分業における貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みを知る。例えば、1ドル＝200円が100円に

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<p>変化することが円高であり、円高になると輸入が増加する傾向があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関税と貿易に関する一般協定（GATT）を引き継いで設立された世界貿易機関（WTO）の主な役割や、国際通貨基金（IMF）が戦後の世界経済に果たしてきた役割について知る。 ・国際的な地域経済統合の動きとして、欧州連合（EU）について知る。例えば、EUの前身であるヨーロッパ共同体（EC）の成立と拡大、共通通貨ユーロの導入などの経緯について知る。 ・南北問題とその解決のための具体的方策について、国連貿易開発会議などの国際機関の動きを中心に知る。例えば、モノカルチャー経済からの脱却のために我が国を含む経済協力開発機構（OECD）加盟国などが発展途上国援助を行っていることを知る。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p>	<p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国が少子高齢社会を迎えて、様々な面で国民経済に大きな影響が出始めていることや、医療や年金など社会保障費の財政負担の増大が大きな問題となっていることを知る。 ・高度経済成長以降の我が国の地域社会の変化について、都市と農村とを比較しながら、過疎と過密が同時に進行してきたこととその背景を知る。 ・雇用と労働を巡る問題について、少子高齢化や産業構造の変化、規制緩和の進展などにより、就業形態が多様化し労働市場が大きく変化していることを知る。 ・我が国における産業構造の変化について、急速な技術革新や情報化が進展するなど、経済のソフト化・サービス化が進んでいることや、中小企業と大企業との間に様々な格差が存在していることなどを知る。 ・農業と食料問題について、日本の食料自給率が他の先進国と比べて極めて低いことや、農業に対する様々な規制や補助金の問題、農業従事者の高齢化問題など、日本の農業をめぐる諸課題について知る。 ・地球環境と資源・エネルギー問題について、温室効果ガスの蓄積による地球規模の気候変動やオゾン層の破壊、熱帯林の減少など、様々な問題が生じていることを知る。 ・国際経済格差の是正と国際協力について、先進国と発展途上国との経済格差が拡大する南北問題と、発展途上国間において経済的格差が広がる南南問題があり、これらの問題解決のために国際的な取組が行われていることを知る。 ・人種・民族問題等について、それぞれの人種・民族はそれぞれの固有の文化や宗教などをもっており、その違いや経済的な格差が、時として相互の反感や差別と結び付き、人種・民族問題を発生させていることについて知る。 ・国際社会における日本の立場と役割について、これまで我が国が実施してきた政府開発援助（ODA）や国連

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
	<p>平和維持活動（PKO）の実績などを踏まえて、今後も国際社会に貢献していくことが重要であることを知る。</p>